

ワイドレンジ2次元複屈折測定システム

WPA-100

Wide-range 2D Birefringence Analyzer

Photonic Crystal Inside



一波長を越える大きな 位相差*分布を手軽に測定

最新のセンサー、最新のアルゴリズム

これまで測定が困難であった数100~数1000nmと大きな位相差を、一度に面分布情報として取得・解析できるようになりました。

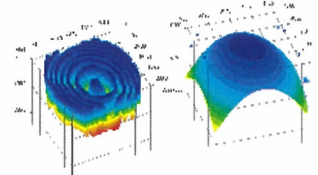
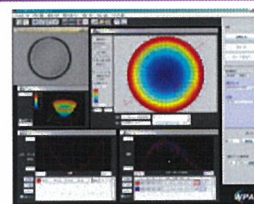
樹脂成形レンズのゲート部歪みの定量比較や、位相差フィルムの均質性評価などで、圧倒的な情報量の評価データが得られます。

● WPA100 の主な機能

付属ソフト
WPA-Viewの簡単ボタン操作で、高度な複屈折分布評価ができます。



1. 複屈折分布の画像表示
複屈折の軸方位や大きさの面内分布の、画像表示や保存ができます。
2. 複屈折分布のグラフ表示
任意の2点間の複屈折分布の、グラフ表示やデータ保存ができます。
3. エリア解析
任意の四角or円形領域内の複屈折量のヒストグラム表示・保存ができます。
4. 3次元グラフ表示
立体的なグラフ表示により、複屈折分布を直感的に把握できます。

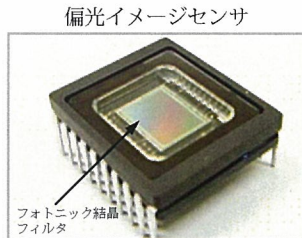
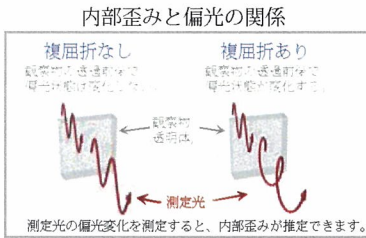


Catch the polarization

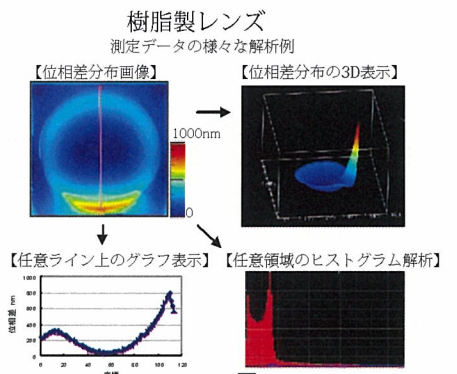
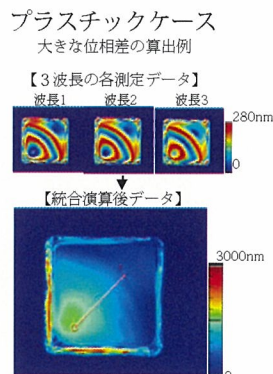
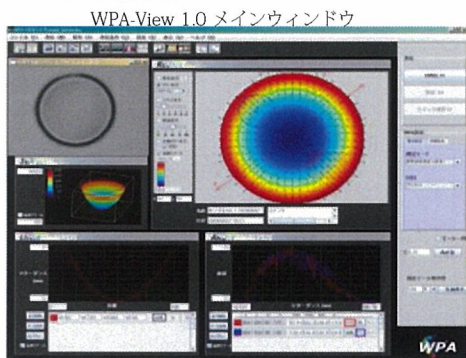
株式会社フォトニックラティス

● 測定原理

- ・ 複屈折を持つ透明物質を通り抜けると、光の偏光状態が変化します(光弾性効果)。逆に、物体を通過する前後の偏光状態を比較することにより、複屈折を評価することができます。
- ・ 当社独自のフォトニック結晶フィルタを組み込んだ偏光イメージセンサは、眼には見えない偏光情報を画像として捉えます。専用の演算・画像処理ソフトとの組み合わせで、複屈折分布を定量データ化、可視化できます。
- ・ WPA-100では、複数の波長で測定した結果を比較演算することで、測定レンジの大幅拡大を実現しました。

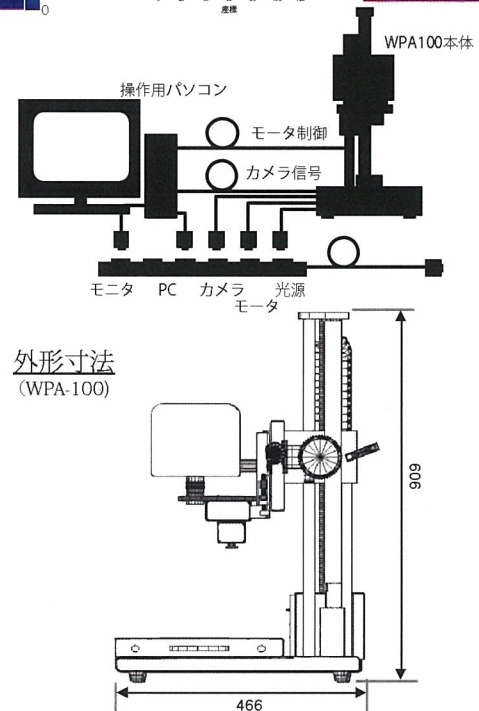


● 観察画像例



● 装置仕様・構成

	WPA-100	WPA-100-L
●測定		
測定範囲	0～1000nm程度以上	
繰返し精度	±0.5nm以下	
●センサユニット		
偏光画像画素数	384×288pixels	
測定波長	(標準構成) 523nm, 543nm, 575nm	
●筐体		
寸法	310×466×606mm	450×593×916mm
重量	20 kg	26 kg
●その他		
インターフェース	GigE(カメラ信号)、RS232C(モータ制御)	
電源/消費電流	AC100～240V 50/60Hz /～6.0A	
ソフトウェア	WPA-View1.0	
その他付属品	デスクトップパソコン、モニター、標準レンズ、取扱説明書	



※各仕様は改善のため予告なく変更することがあります。

※本製品で計測される複屈折の測定結果は、位相差(単位: nm)と主軸方位とで表示されます。



株式会社フォトリタイス

〒980-0845

仙台市青葉区荒巻字青葉

あおばインキュベーションスクエア

電話: 022-726-2076 / Fax: 022-726-2078

e-mail: info@photonic-lattice.com

http://www.photonic-lattice.com

正規販売代理店

株式会社ルケオ

〒173-0024

東京都板橋区大山金井町30-9

Tel: (03) 3956-4111 Fax: (03) 3956-2335

http://www.luceo.co.jp/

担当: 営業部